

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧（産業部会）

所 属	役 職	氏 名	令和3年度の3Rに向けた活動状況	令和4年度の3Rに向けた活動目標
山形県環境保全協議会	会 長	千 歳 毅	<p>1 コピー用紙、封筒使用枚数の削減について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員への案内等はメールなどを活用し、コピー用紙の削減に努めました。</li> <li>・オンライン会議、オンライン講演会を開催した際は、資料はPDFで配布し、コピー用紙の削減に努めました。</li> <li>・会員へ郵送で資料等を送付する際は、なるべくまとめて郵送し封筒使用枚数の削減に努めました。</li> </ul> <p>2 「酒田港大浜海岸のクリーンアップ運動」開催（新規事業）</p> <p>酒田港大浜海岸のクリーンアップ運動を開催しました。海の現状とごみの問題について学ぶ機会となりました。</p> <p>日 時：令和3年10月30日（土）9時30分～11時50分</p> <p>場 所：酒田港大浜海岸</p> <p>参加者：24名（小学生、中学生4名参加）</p> <p>その他：クリーンアップ運動開催後、NPO法人パートナーシップオフィスから「海辺でみつけたへんな物・海ごみの話」と題してご講演いただきました。</p> <p>※ 別添資料③</p>	<p>1 コピー用紙、封筒使用枚数の削減について引き続き、コピー用紙、封筒使用枚数の削減に努めます。</p> <p>2 「クリーンアップ運動」の開催については現在調整中です。</p>
一般社団法人 山形県産業資源循環協会	会 長	黒 澤 利 宏	<p>1 特設Webサイト「令和3年やまがたハイブリッド環境展」の中で、産業廃棄物の適正処理、リサイクルの推進等について動画による啓発を行った。</p> <p>2 協会のホームページや機関誌において、産業廃棄物の適正処理、リサイクルに関する通知等を掲載し、啓発を行った。</p> <p>3 県の総合支庁ごとに設置されている不法投棄防止対策協議会に助成するとともに、原状回復作業に会員が協力した。</p>	<p>令和4年度の活動目標（予定）は下記のとおりです。</p> <p>1 令和4年度も「やまがた環境展」に引き続き参加し、廃棄物の適正処理、不法投棄の防止、リサイクルの推進を呼びかける。</p> <p>2 協会のホームページや機関誌等で啓発を行う。</p> <p>3 各地区の不法投棄防止対策協議会に活動支援のための助成を行うとともに、パトロールや原状回復作業に会員も参加して取り組む。</p>

所 属	役 職	氏 名	令和3年度の3Rに向けた活動状況	令和4年度の3Rに向けた活動目標
山形県商工会議所連合会	常任理事	(前委員) 阿部英弥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー用紙や古紙などを分別し、リサイクル活動をおこなった。</li> <li>・商工会館に、ゴミ削減のポスターやパンフレットの掲示をおこなった。</li> <li>・女性会を中心に3010運動を呼びかけ、周知をおこなった。 (→コロナ禍のため、自粛中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の取組を引き続き実施する。</li> </ul>
公益社団法人日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会	会 長	岩田雄治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議時の資料を完全にペーパーレス化</li> <li>・食事の伴う事業や懇親会での食品ロス低減を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の活動を引き続き実施</li> </ul>
山形県JA女性組織協議会	会 長	大江うた子	<p>食品ロスの削減に向け、フードドライブ活動に取り組み、自宅で余っている、食べられるけど捨ててしまう食品や、使わない日用品等の提供に協力しました。</p> <p>昨年に引き続き、コロナウイルス感染拡大防止のため、密を避け、それぞれのJA女性部で活動しました。</p> <p>地元の社会福祉協議会等と連携し、地域に根ざした活動として取り組みました。</p>	<p>引き続き、フードドライブ活動に取り組む予定です。</p> <p>また、マイクロプラスチックによる海洋汚染や、レジ袋完全有料化の世間情勢に鑑み、「マイバッグ持参運動」をはじめ、家庭レベルで取り組みやすい環境保全運動に取り組む予定です。</p>
山形県電機商業組合	副理事長	川口正男	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家電リサイクル法の推進を図った。</li> <li>2 食事の伴う理事会及び役員会では、食品ロス削減を目指し推進。</li> <li>3 組合事務局では、裏紙の利用とFAX用紙の出力削減。</li> <li>4 地域電器店ではお客様へのレジ袋の使用を控えた。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家電リサイクル法の推進</li> <li>2 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減</li> <li>3 地域電器店でレジ袋の使用を控える</li> <li>4 SDGsの推進</li> </ol>

所 属	役 職	氏 名	令和3年度の3Rに向けた活動状況	令和4年度の3Rに向けた活動目標
やまがた女将会	副会長	工 藤 真 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品ロス削減対策（食材の仕入れの管理の徹底を行い、食べ残しのないように年齢層に応じた料理の提供や、食材を無駄なく使用する工夫等に取り組んでいる）</li> <li>○当館のバイキング会場において、食品ロス削減、食べきりのご協力をお客様にわかるようにポスターを掲示し、料理の出し方も個食盛りができるものに関しては盛り方を工夫し、削減を推進しました。</li> <li>○料理は食べきりサイズにしてお出しする。</li> <li>○卵パックの有効活用。</li> <li>○買い出し時のマイバック持参。</li> <li>○空ペットボトル回収 → キャップは中学校・高校の回収活動へ提供。</li> <li>○食べ残し、生ごみの水切り。</li> <li>○新聞紙・ダンボール・リネン類は中学校の資源回収へ。 3010食事時間の推奨。</li> <li>○社内利用印刷物の裏紙利用。</li> <li>○シュレッターゴミ、その他雑誌の再資源利用。（業者に依頼）</li> <li>○山形県「もったいない山形協力店」のテイクアウトボックスに参加（食品ロス削減のため）。</li> <li>○食べきれよう、少なめに足りない方はお替りをしてもらう。</li> <li>○割りばしではなく、何度も使える箸にしている。</li> <li>○ランチョンマットは、紙製のをやめ、布製にした。</li> <li>○食べ残しをコンポスト化 → 自社農園で野菜づくり → 料理として提供。</li> <li>○グループ全体で、食品ロス削減のため20年前からお料理の見直し。</li> <li>○食材の使い切り、在庫の徹底管理（棚卸）</li> <li>○最低限の紙使用（ペーパーレス）。紙使用の最低ルールを決めて実行している。</li> <li>○スタッフのマイボトル持参。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○もう少し分別してゴミを処理することに徹していきたい。</li> <li>○牛乳パック等のリサイクル</li> <li>○食品発砲スチロールのリサイクル</li> <li>○食品ロスを更に少なくするよう心掛けているが、ある程度はそれでも出てしまう。市場の休みが多くて連休はまとめ買いをしなければいけなくなり、その関係で野菜等はロスが出てしまう。市場は土日以外にも休みをとっており、大元から考えなくてはいろいろな面で無駄が出る。</li> <li>○アメニティグッズの脱プラスチック → バイオプラスチック化（自然素材のものを導入検討中）</li> <li>○プラスチック備品の仕入れ・購入をできる限り減らしていく。</li> <li>○宿泊産業の兼ね合いでゴミの量が多いので、限りなくゴミを出さない仕組み作りが必要。</li> </ul>

所 属	役 職	氏 名	令和3年度の3Rに向けた活動状況	令和4年度の3Rに向けた活動目標
一般社団法人 山形県建設業協会	会 長	國 井 仁	<p>○「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に基づき、コンクリート、アスファルト等の特定建設資材の分解解体や再資源化等の促進について、公共事業の発注者と連携し啓蒙活動に取り組んだ。</p> <p>○建設発生土の適正な処理を推進するため、工事発注時の流用先の設計図書への明示や、運搬・改良処理等に係る費用の計上などについて、公共事業発注者に対し適正な取組みを求める活動を行った。</p>	<p>○引き続き、建設リサイクル法に基づく適正な処理を推進する活動を行う。</p> <p>○引き続き、建設発生土の適正な処理を推進する活動を行う。</p>
山形県再生資源商工組合	事務局	庄 司 里 沙	<p>総会、会議を今年度は書面にて終えている為直接の声掛けは行うことが出来なかった。</p> <p>上記開催の資料について、データ配信が可能な事業者に対してはメールにて資料の配信を行い、印刷物の削減を行った。</p>	<p>今年度も状況を鑑みてになるが、飲食が伴う会が再開になった場合には食品ロスに向けたたべきりへの声掛けを行う予定。</p> <p>また、令和3年度に引き続き資料のメール配信での対応へ切り替えの声掛けも続けていく。</p>
山形県環境整備事業協同組合	理事長	丹 野 善 将	<p>1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 ①廃棄物の適正処理の推進 ②廃棄物の不法投棄の防止</p> <p>2 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減</p>	<p>1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 ①廃棄物の適正処理の推進 ②廃棄物の不法投棄の防止</p> <p>2 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減</p> <p>3 宴会時の食べ切り運動（3010運動）の呼びかけ</p> <p>4 災害時体制の構築 山形県との「災害一般廃棄物の収集運搬に係る協定書」に基づき、被災市町村及び関係団体と連携し、災害廃棄物処理体制を構築する。</p>
公益社団法人 山形県食品衛生協会	会 長	長谷川正芳	<p>食品衛生協会では、食品衛生責任者養成講習会を実施している。食品衛生責任者とは飲食業はじめ食品を扱う事業所に配置が義務付けられており、食中毒や食品衛生法違反を未然に防ぐために管理運営を行う者である。</p> <p>その食品衛生責任者講習会では、食品衛生関係法規、食品衛生学及び公衆衛生学について講義するが、公衆衛生学において、廃棄物処理の項目があり、その中で、廃棄物の管理などとともにゴミの減量化についても講義している。</p> <p>ちなみに、令和3年度は34回の実施を計画している。</p>	<p>令和4年度においても、引き続き、食品衛生責任者養成講習会において、ゴミの減量化について講義を行うっていく。</p>

所 属	役 職	氏 名	令和3年度の3Rに向けた活動状況	令和4年度の3Rに向けた活動目標
山形県商工会女性部 連合会	会 長	原 田 周 子	①廃食油の回収と再利用 ②牛乳パックの回収と再利用 ③フリーマーケット・バザーの定期的な開催 ④エコキャップ回収運動 ⑤マイ箸持参運動 ⑥アルミ缶・プルタブ回収運動 ⑦ゴミ袋削減運動 ⑧生ゴミ堆肥化運動 ⑨食品ロス削減運動 ⑩その他（普及啓発、環境教育など） ※ 各商工会女性部の実施状況について、別添資料④	各女性部で継続してエコ活動に取り組んでいく。
山形県工業会	会長	松 村 英 一	本会においては、情報提供事業の一環として、当運動のチラシを適宜会員に周知すると共に、本会事務所に掲示をして、情報発信並びに活動推進を図っている。	引き続き、平成3年度と同様、活動を推進していく。

## ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等について

所属団体名	山形県環境保全協議会
氏名	会長 千歳 毅

## ○令和3年度の3R（ごみ削減等）に向けた活動状況

## 1, コピー用紙、封筒使用枚数の削減について

- ・会員への案内等はメールなどを活用し、コピー用紙の削減に努めました。
- ・オンライン会議、オンライン講演会を開催した際は、資料はPDFで配布し、コピー用紙の削減に努めました。
- ・会員へ郵送で資料等を送付する際は、なるべくまとめて郵送し封筒使用枚数の削減に努めました。

## 2, 「酒田港大浜海岸のクリーンアップ運動」開催（新規事業）

酒田港大浜海岸のクリーンアップ運動を開催しました。海の現状とごみの問題について学ぶ機会となりました。

日時：令和3年10月30日（土）9時30分～11時50分

場所：酒田港大浜海岸

参加者：24名（小学生、中学生4名参加）

その他：クリーンアップ運動開催後、NPO法人パートナーシップオフィス様から「海辺でみつけたへんな物・海ごみの話」と題してご講演いただきました。



※各所属団体における3Rやごみ削減に向けた取組み内容について記入願います。

例：総会、会議等において出席者〇〇名に対し、マイバック持参や生ごみ水切り、食品ロス削減（食べきり）等について呼びかけを行った

取組み内容について、参考となる資料がございましたら、1部御恵与ください。

## 商工会女性部 “エコ活動” 実態調査報告書

【令和3年12月実施】

- 実施内容
- ① 廃食油の回収と再利用
  - ② 牛乳パックの回収と再利用
  - ③ フリーマーケット・バザーの定期的な開催
  - ④ エコキャップ回収運動
  - ⑤ マイ箸持参運動
  - ⑥ アルミ缶・プルタブ回収運動
  - ⑦ ゴミ袋削減運動
  - ⑧ 生ゴミ堆肥化運動
  - ⑨ 食品ロス削減運動
  - ⑩ その他(普及啓発、環境教育など)

No.	商工会名	内容	実施内容						
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	上山市	1. 石鹸づくりによる廃食油の再利用 (H21年より) 2. エコキャップ回収運動として社会福祉協議会へ毎年持参 (H24年より) 3. EM活性液作り 南小プールへ投入 (H27年より)	①	④	⑩				
2	寒河江市	1. エコキャップ回収運動。現在までの累計122,283個 (H21年より)	④						
3	村山市								
4	東根市	1. 集会での30・10運動 (R3年度より) 2. 祭売店でのリサイクルカップ利用 (H21年度より)	⑨	⑩					
5	尾花沢市	1. 部員よりアルミ缶を回収し、市内のNPO法人へ寄付 (R2年度より) 2. 部員よりタオルを回収し、市内の老人福祉施設に寄贈 (R2年度より)	⑥	⑩					
6	山辺町	1. 初市会場にてチャリティーバザーの開催 (H23年より) 2. マイバック持参運動 (H20年より)	③	⑦					
7	中山町	1. エコキャップを1年間かけて部員より回収し、「NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ寄贈 (H22年度より継続) 2. 買い物袋の代用としてふろしき活用の推進を行っている (H16年より継続) 3. 県内外の団体や企業から依頼され、風呂敷活用講習会の講師として、エコ活動を広めている (H19年度より継続)	④	⑦					
8	河北町	1. 通年を通してキャップを回収。R3. 5. 26山形銀行谷地支店へ128.5kg寄託。 (H25年度より継続)	④						
9	西川町	1. 部員より随時持参してもらう方法。町の小中学校で回収運動を行っているので、その事業に合わせて寄託する予定。	④						
10	朝日町	1. 部員よりタオルを回収し、町内の老人福祉施設へ寄付。	⑩						
11	大江町	1. エコキャップを部員より随時持参してもらい、町の小中学校の回収運動へ寄託。	④						
12	大石田町								
13	もがみ南部	1. 部員よりエコキャップを回収し、山形銀行新庄支店へ寄付。 2. 古いタオル、バスタオル、シーツ、タオルケット等を部員に呼びかけ回収し、必要としている老人福祉施設に寄贈。R3年144枚寄贈。 (H24年より継続) 3. エコキャップ回収とともにベルマーク収集。R3年11月に小学校へ寄付。 (R2年度より継続)	④	⑩					
14	もがみ北部	1. 部員からエコキャップを回収し、地域の山形銀行へ寄付。年1回。 (H27年度より継続) 2. 部員からアルミ缶を回収し地域業者へ売却。売上は福祉活動へ寄付。年間100kg程度の回収。 (H27年度より継続)	④	⑥					



- 実施内容 ①廃食油の回収と再利用 ②牛乳パックの回収と再利用  
 ③フリーマーケット・バザーの定期的な開催 ④エコキャップ回収運動  
 ⑤マイ箸持参運動 ⑥アルミ缶・プルタブ回収運動  
 ⑦ゴミ袋削減運動 ⑧生ゴミ堆肥化運動  
 ⑨その他(普及啓発、環境教育など)

No.	商工会名	内容	実施内容					
15	南陽市	1. エコキャップ回収運動を行い、山形銀行赤湯支店へ54.8kg寄託 (H23年度より) 2. プルタブ6.8kgを回収し南陽市社会福祉協議会(南陽市ボランティア友の会)へ寄託。 3. 会議等で「3010」を部員へ呼びかけ、女性部だよりでPR (R1年度より) 食品ロス削減周知チラシを作成し新聞折込 (R2年度) 4. フードドライブの実施。集まった食品は、やまがた福わたしさんへ寄付。(R3年度) 5. 使用済切手(古切手) 800g 南陽市社会福祉協議会(南陽市ボランティア友の会)へ寄託。 6. はぎれを使った小物作り(R2年度) 7. ごみ減量・もったいないねっと山形金澤和子氏より講演(テーマ:すばらしい山形 もったいないを合言葉に) (R2年度) 8. 一般社団法人やまがた福わたし 伊藤智英氏より講演(テーマ:フードバンクの活動と身近なエコについて) (R2年度)	④	⑥	⑨	⑩		
16	高島町	1. 「くるくる輪」廃油回収協力事業と「お〜い石鹸づくり」協力事業(H16年度~30年度) 2. 商工会フェスタ等の開催時に、部員の商品提供による出店実施(H20年度より随時) 3. エコクッキング教室開催(H22年・H28年)部員による継続的な実践活動(H22年度より継続) 4. エコドライブ教室開催(H22年)部員による継続的な実践活動(H22年度より継続)	①	③	⑩			
17	川西町	1. 縫製工場で出た余り布を用いて小物等を作り、女性部の売店で販売したり、部員のお誕生日プレゼントに利用している。(H20年度より継続) 2. エコキャップをそれぞれの家庭で収集し、学校や銀行の窓口で回収に 3. 各々協力。(H24年度より継続) 4. アルミ缶・プルタブをそれぞれ家庭で収集し、学校等で回収する機会に協力。 5. 各々エコバック持参にて買い物。風呂敷講習を活かし、各自風呂敷を持ち歩きエコバックとして活用。 6. 各自コンポストを活用して生ごみの堆肥化に各々参加。 懇親会時には、司会者より懇親の始めと終わりに料理を楽しむ時間を設けることを説明し「30・10運動」に協力。	③	④	⑥	⑦	⑧	⑨
18	小国町	1. 女性部員でエコキャップを集め、令和3年度末に山形銀行小国支店へ寄託。	④					
19	白鷹町	1. マイ箸をイベント等へ持参する(H20年度より継続) 2. エコクッキング教室の開催。材料をムダにしない、効率のよい作業を行う。(H27年)	⑤	⑩				
20	飯豊町	1. 部員が各自エコバック持参やエコキャップ・プルタブ回収に協力している。	⑩					
21	庄内町	1. 商工会館にエコキャップ回収BOXを設置し、通年運動。(H29年度より継続) 2. 商工会館にアルミ缶・プルタブ回収BOXを設置し、通年運動。(R3年度より) 3. 商工会報「アルザ通信」に女性部環境活動事業として活動報告を掲載し、商工会員事業所への普及啓発に努めている。	④					
22	出羽	1. 使用済切手を回収して、各種ボランティア団体に寄贈している。	⑩					
23	遊佐町							
24	酒田ふれあい	1. エコキャップを回収し、R3. 11. 17に酒田市立田沢小学校へ300入袋で7袋寄贈。(H24年度より継続)	④					